

日高農業生産法人会研修会 ～スマート農業について研修しました～

日高農業生産法人は令和2年1月24日（金）に、スマート農業技術の導入について研修を行い、生産者や関係機関を含む36名が出席しました。

スマート農業とはロボットや、ICTを活用することにより省力化と高品質生産を可能とすることを目的とした技術です。

最初に、ホクレン営農支援センター主任技師 村木 雅人氏から衛星測位システムとRTK基地局からの補正信号を組み合わせることで高精度なトラクターの自動操舵機能を利用した事例や、ドローンによる農薬防除面積が増えている実態などについて説明がありました。続いて、（株）杉山牧場代表取締役 杉山 憲由氏からは、育成牛の赤外線利用による体温測定を個体管理に活用している事例等について報告がありました。

また、会員への情報提供として、「イスラエル農業視察」に参加した（株）渡辺農場の代表取締役 渡辺 隆氏から施設園芸の環境制御技術や酪農場で乳汁から牛の健康状態を数値化する先進技術の導入事例について報告がありました。

今後、スマート農業技術を取り入れるにあたり参考となる研修会となりました。

（筆者 主査（担い手）小林 靖幸）



「スマート農業が今後の鍵です」
ホクレン営農支援センター 村木 雅人 氏



「スマート農業を実践しています」
（株）杉山牧場 杉山 憲由 氏



「イスラエル農業技術は
世界一です」
（株）渡辺農場
渡辺 隆氏



真剣に話に聞き入る参加者たち